

【編集発行】

住みよい長穂をつくる協議会・長穂市民センター

新 緑 号 令和元年(2019年)6月1日

私達の長穂

パソコンでご覧になる場合は

しゅうなん地域づくり応援サイト

検索



住みよい長穂をつくる協議会
会長 重國 和男

長穂のコミュニケーション紙、「私達の長穂」が発行400号を迎えることになりました。

これも、先人、地域の皆様方が、長穂を愛し、住みよい長穂をつくるため、長年に渡り努力された賜物であると思います。時代は令和に変わり、令和の元号は、万葉集の梅花の歌の序文、

「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薰す」の文言が典拠のことです。

国民の皆様から気持ちよく受け入れられ、とても心地よい響きに感じとられます。さて、長穂も人口減少が続いているが、長穂中央部の基盤整備、農事組合法人長穂の立ち上げ、長穂支所・市民センターの旧長穂小学校跡地への新築移転等明るい話題も沢山ございます。

「私達の長穂」が、地域づくりのため、地域の皆様が心と心を寄せ合う広報紙として継続して発行されること、令和の時代が平和で災害のない明るい時代であることを心から祈念したいと思います。

私達の長穂400号をお祝い!

住みよい長穂をつくる協議会
前会長 小野 武人



新緑の若葉も濃さを増してきました。そしてほたるが飛び始める好季節、6月1日号で「私達の長穂」も400号となりました。

先日5月1日に新天皇が即位され「令和」の時代になつたおめでたい年です。

昭和、平成、令和と三世代に渡つた33年余り、児童園児から長寿会のお年寄りまで地区のイベントを中心にその時々の出来事を地区の皆様に伝えてきたのです。手書きからワープロ、パソコンと活字は変わり、初代八木、二代藤本、そして現深町と各編集長を始め、編集、発行に携わつてこられた皆様のご努力、ご苦労に改めて敬意を表したいと思います。

地域の皆様にとって身近で心触れ合う広報紙として、これからも永く続けていくつほしいと思っています。毎月の配布を心待ちにしておられる方も多いと聞いています。私もその一人です。

500号、600号と永く続いていく、400号はその中間点だと思っています。これからも「私達の長穂」を温かく育てて参りましょう。

皆様のご協力を!

「ほたるの採集について」



日 時 6月6日(木)19時半～21時
※雨天時は翌日に順延します。

集合場所 茅地川(下筋の吉本宅付近)

その 他 安全のため、長靴等でお越しください。
また、虫取り網・袋は数に限りがありますので、お持ちの方は持参して下さい。

今年はほたる祭りは開催しませんが、引き続きほたるの養殖事業を行うために採集します。また、養殖に協力してくれるほたるへの感謝を意をこめ、6月8日に「かさやどりのピアガーテン」という地域向けイベントを開催します。詳細は同時配布のチラシをご覧ください。



